

文部科学省 令和 5 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について

1 暴力行為

暴力行為件数の推移（国公立小・中・高等学校の調査結果） （単位：件）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
小学校	338	298	308	340	488
中学校	175	119	134	166	226
高等学校	39	35	28	15	22
県合計(千人当たり件数)	552(7.7)	452(6.4)	470(6.8)	521(7.6)	736(11.0)
全国合計(千人当たり件数)	78,787(6.1)	66,201(5.1)	76,441(6.0)	95,426(7.5)	108,987(8.7)

暴力行為の発生件数は 736 件で、前年度から 215 件増加している。

校種別では、小学校 488 件（66.3%）、中学校 226 件（30.7%）、高等学校 22 件（3.0%）となっている。

暴力行為の形態は、多い順に「生徒間暴力」545 件（74.0%）、「器物損壊」91 件（12.4%）、「対教師暴力」77 件（10.5%）、「対人暴力」23 件（3.1%）となっている。

2 いじめ

いじめ認知件数の推移（国公立小・中・高等・特別支援学校の調査結果） （単位：件）

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
小学校	1,996	1,745	1,974	2,393	1,987
中学校	705	515	546	513	526
高等学校	55	64	39	25	30
特別支援学校	12	22	34	27	17
県合計(千人当たり件数)	2,768(37.9)	2,346(32.8)	2,593(36.9)	2,958(42.8)	2,560(37.6)
全国合計(千人当たり件数)	612,496(46.5)	517,163(39.7)	615,351(47.7)	681,948(53.3)	732,568(57.9)

いじめの認知件数は 2,560 件で、前年度から 398 件減少している。

いじめ発見のきっかけとして、「アンケート調査など学校の取組により発見した」1,283 件（50.1%）が多く、各学校でアンケート調査が積極的に活用され、いじめ発見のための有効な手段となっている。

いじめの態様（全 9 項目より複数回答）の全国結果は、全校種で「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、次いで小学校・中学校・特別支援学校では「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」、高等学校では「パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる」が多くなっている。

3 重大事態

重大事態発生件数の推移（国公立小・中・高等・特別支援学校の調査結果）（単位：件）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
県	発生件数	0	0	3	5
	1号重大事態（生命心身財産）	0	0	1	0
	2号重大事態（不登校）	0	0	3	5
全国	発生件数	512	705	919	1,306
	1号重大事態（生命心身財産）	238	350	445	648
	2号重大事態（不登校）	345	428	616	864

※1件の重大事態が第1号・第2号の両方に該当する場合は、それぞれの項目に計上

いじめの重大事態は、全国的に増加傾向にあり、本県では第2号事案（不登校重大事態）が5件である。

4 小学校・中学校における不登校

小学校・中学校不登校児童生徒数の推移（国公立小・中学校の調査結果）（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小学校	274	321	374	477	553
中学校	667	693	953	1,088	1,209
小中合計(千人当たり人数)	941(17.6)	1,014(19.3)	1,327(25.5)	1,565(30.5)	1,762(34.8)
全国合計(千人当たり人数)	181,272(18.8)	196,127(20.5)	244,940(25.7)	299,048(31.7)	346,482(37.2)

小学校・中学校の不登校児童生徒数は1,762人で、前年度から197人増加している。

不登校児童生徒について把握した事実の全国結果は、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」が多く、次いで「不安・抑うつ等の相談があった」、「生活リズムの不調に関する相談があった」、「学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた」の順となっている。

5 高等学校における不登校

高等学校不登校生徒数の推移（国公立高等学校の調査結果）（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
徳島県(千人当たり人数)	112(6.1)	160(9.0)	147(8.6)	171(10.3)	188(11.6)
全国合計(千人当たり人数)	50,100(15.8)	43,051(13.9)	50,985(16.9)	60,575(20.4)	68,770(23.5)

高等学校の不登校生徒数は188人で、前年度から17人増加している。

不登校生徒について把握した事実の全国結果は、「学校生活に対してやる気が出ない等の相談があった」、「生活リズムの不調に関する相談があった」などが多く、次いで「不安・抑うつ等の相談があった」、「学業の不振や頻繁な宿題の未提出が見られた」の順となっている。

6 高等学校における中途退学者

高等学校中途退学者数の推移（国公立高等学校の調査結果）（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
徳島県(出現率%)	122(0.7)	97(0.5)	61(0.4)	101(0.6)	101(0.6)
全国合計(出現率%)	42,882(1.3)	34,965(1.1)	38,928(1.2)	43,401(1.4)	46,238(1.5)

高等学校中途退学者数101人で、前年度と同数である。

中途退学の理由は、「進路変更」、「学校生活・学業不適合」、「問題行動等」などとなっている。